

山口蓬春・新日本画の描き方



教えて、蓬春先生!



上：葉山の画室にて 昭和29年(1954)頃／下：山口蓬春《花菖蒲》昭和37年(1962)

令和5年(2023)

4月8日 **土** → **6月4日** **日**

【前期】4月8日(土)～5月7日(日)

【後期】5月9日(火)～6月4日(日)

開館時間：午前9時30分～午後3時30分
(入館は午後3時まで)

休館日：毎週月曜日

※会期中に一部展示替えを予定しております。

※展示作品は都合により一部変更することがあります。

※今後のコロナ禍の状況により、展覧会開催状況等が変更となる場合がございますので、詳しくは当館ホームページ等でご確認ください。

主催：山口蓬春記念館・公益財団法人 JR東海生涯学習財団

後援：神奈川県教育委員会、葉山町教育委員会

入館料：一般 600円 (高校生以下は無料)
(税込み) 団体割引 100円割引 (20名以上の団体で1週間前までに予約した場合)
障がい者割引 100円割引 (同伴者1名を含む)
連携館割引 100円割引
年間入館券 1,800円

※連携館：葉山しおさい公園・博物館 (大人券のみ)

神奈川県立近代美術館 葉山 (企画展の一般券・学生券のみ)

※当館展覧会を何度でもご覧いただけるお得な年間入館券も発売中
(発行月から翌年の同月末日まで有効)

HP <https://www.hoshun.jp/>
f <https://www.facebook.com/yamaguchihoshun/>
t <https://twitter.com/yamaguchihoshun/>
i https://www.instagram.com/yamaguchi_hoshun/



山口蓬春記念館

HOSHUN YAMAGUCHI MEMORIAL HALL

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2320 TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192

山口蓬春・新日本画の描き方 ～教えて、蓬春先生!～

今日、日本画と呼ばれる絵画の歴史は古く、奈良時代から平安時代に掛けて中国大陸や朝鮮半島などを經由して日本にもたらされました。日本画で用いる主要な絵具は、岩絵具という天然の鉱石を粉末状に砕いた顔料に膠を混ぜたもので、その発色の美しさは日本画の特色の一つにあげられます。現在でも東アジア諸国、シルクロードの要衝の地には、日本画の源流ともいえる膠を接着剤にして色料を画面に定着させる膠絵（膠彩画）というような絵画が伝存していますが、この絵画技法を今日まで継承しているのはわが国の日本画のみであり、世界的にみても貴重な絵画といえます。

しかし、私たちが使用している「日本画」という言葉自体は、明治時代にアメリカの美術研究家・フェノロサの講演を契機とし、西洋画に対して伝統的な日本の絵画の総称として名付けられました。日本画の概念には伝統的な日本の絵画を総称する意味と、伝統的な日本の絵画技法を継承しつつも西洋画法を取り入れた新様式の絵画を総称する意味があるのです。

日本画家・山口蓬春（1893-1971）は、東京美術学校西洋画科に入学するも日本画科に転科し、以後、戦前から戦後へと時代が激しく移り変わるなかで伝統的な絵画技法を究め、かつ、「新日本画」の創造を目指し邁進し続けました。蓬春は、西洋画と日本画という二つの知識と技法を会得したことで、奇しくも日本画が内包してきた伝統と革新という要素を、身を持って体得し、実践してきた画家ともいえるのです。

本展では、蓬春の言葉の軌跡を辿りながら、その作品の描き方ももちろん、審美眼によって蒐集されたコレクション、また、残された画材類を通じて蓬春が求めた「新日本画」の創作過程を解き明かします。

関連イベントのご案内

● 展示解説

4月14日(金)、21日(金)、28日(金)、5月5日(金・祝)、12日(金)、19日(金)、26日(金) 10:30～(所要時間：約30分)

内容 展示の見どころを学芸員が解説します。

定員 先着5名程度

集合 開始時間までに入館手続きをお済ませのうえ、受付付近にご集合ください。

● 国際博物館の日 5月18日(木)

内容 国際博物館会議 (ICOM) では、5月18日を「国際博物館の日」とし、博物館が社会に果たす役割について広く市民にアピールしています。当館でもこれを記念して、当日来館された方全員に絵葉書を差し上げます。

● 子どもと大人のための美術に親しむ教室「岩絵具を使って絵を描こう!」 6月3日(土) 13:00～15:30

内容 日本画で使用する岩絵具、膠を使って絵を描きます。

※小学5年生～中学生と保護者にあたる大人の方が対象

場所 山口蓬春記念館 別館多目的室

参加費 無料

定員 10組20名(応募者多数の場合は抽選)

締切 5月22日(月)

申込 はがき又はFAXに住所、氏名(ふりがな)、年代、イベント名を明記のうえ、お申込みください。

※イベント等は中止になることがあります。最新情報は当館ホームページをご覧くださいか、お電話にてお問合せください。



次回展示のご案内

夏季企画展

山口蓬春が描く古典と現代

会期：令和5年(2023)6月10日(土)～9月24日(日)

本展のみどころ

① 岩絵具って、膠って何？

蓬春が数々の傑作を生み出した画室にて実際に使用していた画材類を詳しくご説明します!

蓬春の画室は、当時のままの状態でご保存され、令和5年(2023)に国登録有形文化財に登録されました。画室に遺された画材類は今なお、生前の創作活動を伝えています。



画材類が遺された画室

② 下絵、下図、念紙って何？

日本画特有の制作工程や技法を蓬春の作品を用いながらご紹介します!

日本画の制作では画材の性質上、油彩画のように最初からキャンバスに描き始めるという工程をとりません。日本画特有の工程や技法を知ることにより、楽しく、深く蓬春の作品を鑑賞してみてください。



①

②

③



④

⑤

③ 新日本画創造の原動力となった古美術研究の数々をご覧ください!

蓬春の審美眼を鍛えるとともに新日本画創造の糧となった古美術品のコレクションと、その完成度の高さから「公蔵されるべき」といわれた模写を合わせてご覧いただくことで、これまでとは一味違った作品の魅力をぜひ発見してみてください。



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩

①山口蓬春《バラ 写生》昭和40年(1965)

②山口蓬春《瓶花 下図》昭和40年(1965)

③山口蓬春《瓶花》昭和40年(1965)

④山口蓬春《紫陽花》昭和34年(1959)

⑤山口蓬春《静物(遠三彩と果物)》

昭和31年(1956)◎

⑥《黒釉鉄絵玉壺春瓶》中国・磁州窯

宋・金時代(12-13世紀)

⑦俵屋宗達《伊勢物語図色紙「梓弓」》

江戸時代初期(17世紀前半)

⑧山口蓬春《扇面流し》昭和5年(1930)

⑨作者不詳《草蟲図》江戸時代(17世紀)

⑩山口蓬春《呂歌甫筆 草蟲図 模写》

大正7-12年(1918-23)頃●

※展示作品は全て山口蓬春記念館蔵

●：前期のみ展示 ◎：後期のみ展示



【交通案内】

JR横須賀線・湘南新宿ライン「逗子駅」より京浜急行バス3番乗場、又は京浜急行線「逗子・葉山駅」南口2番乗場より「海岸回り葉山行(逗12)」か「海岸回り葉山福祉文化会館行(逗11)」にて約20分「三ヶ丘・神奈川県近代美術館前」下車徒歩2分。※当館には専用駐車場がございませんので、周辺の有料駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2320
TEL:046-875-6094 FAX:046-875-6192



山口蓬春記念館

HOSHUN YAMAGUCHI MEMORIAL HALL